



仕事 × 家庭 × 私 = 笑顔ある暮らし

大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間

大阪市では、女性活躍を応援するさまざまな団体とともに、8月をワーク・ライフ・バランス推進月間として集中的に取り組みを進めています。「やりがいを感じながら働く時間」と「家族とともに過ごす時間」と「自分自身の趣味や地域活動を楽しむ時間」の調和が大切です。長時間労働等の働き方の見直し、女性が働きやすい職場づくり、男性の家事・育児・介護・地域活動等への参加の促進等を図ることにより、年齢や性別、子育てや介護に関わらず、すべての人にとって「笑顔ある暮らし」が実現するよう取り組んでいきます。

主催：大阪市 共催：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会、大阪市女性起業家情報交流協会、大阪市地域女性団体協議会、大阪市PTA協議会、大阪商工会議所、大阪労働局、公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、公益社団法人関西経済連合会、公立大学法人大阪市立大学、特定非営利活動法人大阪NPOセンター、日本労働組合総連合会大阪府連合会（大阪女性きらめき応援会議構成団体、五十音順）協賛：大阪市民共済生活協同組合【自転車補償プラン】



ワーク・ライフ・バランスについて考えたり 余暇を有意義に過ごすイベント等です。ぜひご参加ください



○中之島文楽

ゲストを招いてのトークショーや文楽上演など、文楽初心者の方にもわかりやすく気軽に楽しんでいただけるカジュアルな公演です。

【日時】8月25日（木）、26日（金）

開場／18:00 開演／19:00 終演／21:00（予定）

19:00～第一部・文楽入門トーク／

19:45～第二部・文楽上演（「曾根崎心中」ほか）

【会場】大阪市中央公会堂 大集会室

【入場料】大人（高校生以上）前売券¥1,800 当日券¥2,000

小人（小学生以上）前売券¥800 当日券¥1,000

【問合せ】キョードーインフォメーション 電話：0570-200-888

【主催】文楽を中心とした古典芸能振興事業実行委員会

○経営者・管理職おすす！イクボス養成セミナー

※イクボス：部下のワーク・ライフ・バランスを考慮し、キャリアと人生を応援しながら、組織に貢献できる結果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむことのできる経営者・管理者層のことをさします。

【日時】8月18日（木） 13:30～16:30

【講師】天野勉（NPO法人ファザーリング・ジャパン関西副理事長）

【問合せ】クレオ大阪中央 電話：06-6770-7200

※申し込み方法など詳しくはP19へ

○リケジョ応援！サイエンスって不思議！女の子のおもしろ実験教室

【日時】8月23日（火） 10:00～11:30

【講師】佐藤美子（四天王寺大学教育学部講師（専任））

【問合せ】クレオ大阪西 電話：06-6460-7800

※申し込み方法など詳しくはP19へ

○自立をめざす女性のための就労応援セミナー

自立をめざす女性を対象に、パソコンの基本知識、ワード・エクセルの基本操作と就労に向けて履歴書や職務経歴書の書き方などを学ぶ講座を開催します。勇気を出して、一歩を踏み出しましょう。

【日時】8月24日（水）～8月26日（金） 10:30～17:00 全3日

【会場】クレオ大阪東 【対象】経済的に困難な状況にある女性

【定員】15名（締切後抽選） 【受講料】無料

【締切日】8月14日（日）

【講師】古川永里子（有限会社 E project 代表取締役）ほか

【問合せ】クレオ大阪東 電話：06-6965-1200

問合せ 大阪市民局男女共同参画課

TEL 06-6208-7655 FAX 06-6202-7073

おおさか歴史探訪 104

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。



漱石ゆかりの先代大阪市立公会堂

今年は文豪・夏目漱石（1867～1916）の没後100年にあたり、これに合わせて各地でさまざまな催しが行われています。実は、漱石はこの大阪にも1ヶ月ほど滞在しており、他所とは違った意味で記憶に残る土地であったと思われます。

漱石の来阪は明治44（1911）年の8月、大阪朝日新聞社主催の連続講演会を行うためでした。この講演会は明石・和歌山・堺と続いて最後が大阪で、その会場となったのが先代の公会堂です。この公会堂は大正7（1918）年に完成した現在の中央公会堂の西半分の場合（「大阪通商会社 為替会社跡」の石碑の所）にあり、明治36（1903）年に大阪で開催された第5回内国勸業博覧会に合わせて建設されたものです。この年には日本銀行大阪支店が、翌年には府立中之島図書館の中央の本館部分が完成し、中之島の景観は大きく変貌しました。先代の公会堂は、土佐堀川側を正面とする木造2階建のルネサンス風の建物で、1,500人を収容できるものでした。漱石の講演があった時は、真夏の盛りに、超満員の参加者でこの会場がまさに寿司詰め状態だったようです。『漱石全集』第16巻（1995年、岩波書店）にはその時の講演「文芸と道徳」が採録されています。少し堅苦しい感じのする演題ですが、読んでみると随所にユーモアを交えながら話す漱石のサービス精神が感じられ、大阪市民もきっと大満足だったと思います。

漱石はこの講演を終えて宿に帰って寝ていると、急に嘔吐し、そのまま市内の病院に3週間ほど入院することになります。漱石にとっての大阪はどんな印象だったのか、気になるところです。

（大阪市教育委員会 文化財保護課）



土佐堀川越しに望む先代の公会堂